

## 平成27年度 第2回木更津市生涯学習推進協議会 議事録

- 1 日 時 平成28年3月16日（水）午後2時00分～4時00分
- 2 会 場 木更津市役所朝日庁舎 会議室A2
- 3 出席者 委 員：前野一夫会長、石井敏弘委員、尾崎進委員、松尾玲子委員  
藤野笙子委員、磯部光治委員、鶴岡俊之委員、安藤順子委員（8名）  
事務局：鹿間教育部部長、石井生涯学習課長、  
佐々木主幹、露寄主査、堀田主事（5名）

### 4 次第

#### 1 開 会

- ・木更津市生涯学習推進協議会会長あいさつ
- ・木更津市教育委員会教育部長あいさつ

#### 2 協議事項・報告事項

##### （1）平成27年度木更津市生涯学習事業について

- ・市民公開講座
- ・生涯学習フェスティバル
- ・生涯学習バス「まなび」

##### （2）生涯学習基本構想・計画の策定方針等について

##### （3）その他

#### 3 閉 会

### 5 資料

- 平成27年度（第21回）生涯学習市民公開講座実施要項及び事業報告
- 平成27年度（第24回）木更津市生涯学習フェスティバル開催要項及び事業報告
- 生涯学習バス運行状況（平成26、27年度）
- 生涯学習バス「まなび」の使用について  
キャンプ場の申込期間等における特例（平成28年度）
- 「生涯学習推進協議会」ワールドカフェ・スタイルの話し合いの記録
- 生涯学習基本構想・計画イメージ

## 6 会議の概要

### (進行)

ただ今より、平成27年度木更津市生涯学習推進協議会第2回会議を開催します。

委員13名中8名の出席であり欠席者は5名であります。会議の成立要件については、生涯学習推進協議会設置要綱に特に規定はございませんが、委員の2分の1以上の出席となっております。なお、本会議は木更津市審議会等の会議の公開に関する条例施行により公開されておりますが、本日の傍聴人は0名です。以上報告させていただきます。

それでは、前野会長よりご挨拶をいただきたいと存じます。

### (前野会長)

本日は、木更津市生涯学習の次年度に向けた審議をお願いします。一般的なお話ですが、高齢化社会が進んでおり、生涯学習の質もだんだん変わってくると思います。また、生涯学習を地方創生に結びつける動きもありますが、特にこの地域では、千葉大学が「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」という文科省と連携した地域創生人材育成というプロジェクトに選定され、全国でも選定された40近い大学のそれぞれの地域創生ブロックがスタートしております。

また、当校、木更津工業高等専門学校も敬愛大学、放送大学とともに千葉大学と協働しております。また、県を主体として自治体にも声がかかっております。

地域創生、人材育成を絡めてこういった生涯学習のこれまでの活動を踏まえた次の段階の活動を提案していける段階になったかなと思っております。

本日の推進協議会もご審議の程お願いします。

### (進行)

ありがとうございます。続きまして、木更津市教育委員会教育部長の鹿間よりご挨拶申し上げます。

### (鹿間教育部長)

本日は、年度末の大変忙しい中、生涯学習推進協議会第2回定例会にお集まりいただき、誠にありがとうございます。

本来ならば、木更津市生涯学習推進本部・副本部長の高澤教育長がご挨拶するところでございますが、本日、所用のため欠席させていただきますので、私の方からご挨拶させていただきます。

まず、ただ今ご挨拶いただきました、前野会長をはじめ委員の方々は、この3月末をもって任期が満了となります。任期の2年間、生涯学習推進協議会の委員として、大変貴重なご意見をいただき、心よりお礼を申し上げます。

さて、本日の会議ですが、まず、平成27年度の主な生涯学習事業について、事務局より報告、説明をさせていただきます。来年度へ向け、市民公開講座、生涯学習フェスティバル事業のあり方、生涯学習バスの効果的な運行等について、ご意見ご指導を賜りたいと考えて

おりますのでよろしくお願いいたします。

もう1点は、新たな「生涯学習基本構想・計画の策定方針等について」でございます。ご案内のとおり、本市においては、平成4年に生涯学習基本構想を策定するとともに、生涯学習都市を宣言いたしました。そして、平成7年に生涯学習基本計画を策定し、生涯学習施策を推進してまいりました。しかし20有余年を経過し、時代に対応した新たな構想・計画が必要となっております。

教育委員会では、昨年3月に定めた「木更津市教育振興基本計画」の中で、いつでも、どこでも、だれでも自由に学べる「生涯学習都市きさらづ」をめざして、新たな推進施策の展開を図るため、「第2次生涯学習基本構想・生涯学習基本計画」の策定に取り組むこととしました。

本日は、来年度以降の策定作業に向け、生涯学習の基本的な考え方や方向性、施策の柱、策定スケジュール等について、委員の皆さんからご意見等を頂戴できればありがたい、と考えております。

どうぞよろしくお願いいたします。

#### **(進行)**

ありがとうございました。それでは会議に入ります。

今後の議事進行については、生涯学習推進協議会設置要綱第6条により、会長にお願いいたします。

#### **(前野会長)**

それでは、これより進行を務めさせていただきます。本日の議題は、「平成27年度木更津市生涯学習事業について」と「生涯学習基本構想・計画の策定方針等について」の協議でございます。

それでは、(1)平成27年度の生涯学習事業ということで、生涯学習市民公開講座、生涯学習フェスティバル、生涯学習バスの各事業について、ご説明をお願いいたします。

#### **(事務局)**

－ 生涯学習関係事業について説明 －

#### **(前野会長)**

ただ今の説明につきまして、委員の皆様からのご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

#### **(安藤委員)**

生涯学習バスは、午後5時までに帰らなければいけないのですか。

#### **(事務局)**

生涯学習バスにつきましては、8時半に潮見車庫(旧市役所)を出庫し、午後5時までに

戻ってくるスケジュールでご使用いただくようお願いしております。また、交通渋滞等で帰庁が遅れた場合、また、千葉県公民館研究大会などは、公民館運営審議会の皆さんが会議に出席するというので、午後5時を超えることはやむを得ない、そういった例外はありますが、通常のバス利用については、守っていただくようお願いしております。

**(石井委員)**

市民公開講座は60歳以上の参加が多いので、幅広い内容の講座と言いつつも、こういった方たちを意識しなければいけないのかなと感じました。

**(藤野委員)**

市民公開講座は、私も参加しましたが、高齢の方が本当に多く、講座の内容もレベルが高いなと思いました。

**(事務局)**

市民公開講座については、資料にもありますように、アンケート結果を踏まえて委託先の清和大学に講義内容の検討を依頼しております。最近、時事問題など、皆さんの関心の高い分野を依頼したところ、それに応じた講座も行っております。その成果もあって、全体的には年齢層は高いですが、20代、30代の参加者もいらっしゃいます。

ここで、委員の皆様にお伺いしたいのですが、講座の分野・テーマについて、ご意見がありましたらお願いします。

また、生涯学習フェスティバルですが、市民会館の耐震診断の結果により中ホール以外休館しておりますので、市民体育館と市民会館中ホールで実施しました。平成28年度も同様の場所で開催する予定です。過去には市民総合福祉会館で開催したこともありますが、会場についてご提言があれば聞かせください。

**(石井委員)**

生涯学習フェスティバルを小中学校で実施することはできないのですか。

**(事務局)**

想定したことはありませんでした。

**(尾崎委員)**

小中学校で実施したとして、問題は駐車場かな。

ただ、フェスティバルを見ましたが、中ホール以外、市民会館が使えないというのは「痛い」と感じました。

**(鶴岡委員)**

P T Aは、市民体育館で「わくわくあそびたんけんたい」の一つとして参加しました。場所は取りますが、子どもたちが楽しそうにしています。

学校という案もでしたが、公民館でやったことはありますか。

**(事務局)**

公民館はありません。これまで実施した会場は、市民会館、市民体育館と市民総合福祉会館だけです。

**(鶴岡委員)**

私は、市民総合福祉会館のときも参加しましたが、非常にコンパクトですけど来場者は多かったイメージがあります。式典会場である市民会館中ホールは離れていましたが。

**(事務局)**

生涯学習フェスティバルは、何年間か市民会館フェスティバルと合同開催した時期があり、フリーマーケットや自衛隊車両の展示など非常に大規模なものになったのですが、生涯学習フェスティバルの趣旨とは外れたものになってきたこと、そして、駐車場の確保ができなくなり違法駐車が増えてしまい主催者として対応しきれなくなったことから4年前分離しました。しかし、単独になったことにより集客という点が課題となりました。生涯学習フェスティバルは、当初は消費生活センターと共催し消費生活展が開かれるなど、その後も様々な団体が参加してくれました。その後、縮小傾向にありますので、会場だけでなく参加団体の呼びかけについても意見をお聞かせください。

**(石井委員)**

会場については、無いものは仕様が無いので、ある中で苦勞しながらやっているようですが。学校でやる場合でも雨が降ったら、グラウンドには駐車できないので、ここでは無理かな。

**(松尾委員)**

市民総合福祉会館で実施したことがあるのですね。そこなら、とても良い気がしているのですが。やはり、フェスティバルを開催するとすると狭いのですか。

**(事務局)**

一つひとつの部屋が小さいですね。3階建てということで使い勝手は良いのですが、以前福祉会館で行ったときは、市民会館中ホールで式典、市民ホールに子どもたちのスペースを作りました。また、福祉会館は意外と照明が暗いこと、部屋ごとにドアがあるので、中に何があるのかわからず、来場者が部屋に入ってくれなかったことがありました。

逆に今回は、体育館というオープンなスペースでやらせていただいたのですが、全体が見渡せて良かったという意見もありました。

**(松尾委員)**

私も、福祉会館にはめったに行かないのですが、行く度に閑散としていて、なんともった

いない施設なんだと思うんですよね。まあ、福祉会館でやるとするとやはり、市民会館中ホールや体育館も含めて開催ということになるのかな。

**(前野会長)**

今年度のフェスティバル、私も見たのですが、体育館のスペースに少し余裕があったかなという感じでした。ブースの作り方によっては、お客さんの来なかったところも体育館内に集めることも可能かもしれませんね。

ほかに、ご意見はございますか。

**(鶴岡委員)**

市民公開講座ですが、受講者の年代が高いということで、仮に若い層にも受講してほしいということであるならば、たとえば若者向けのテーマを第1回に持ってきて興味をもってもらうとか、少しでも生涯学習の機会を増やせないかなと思います。

**(事務局)**

具体的に、若者受けするようなテーマとは何ですか。

**(鶴岡委員)**

イメージだけでうまく言えないんですけど、若者がちょっと興味を示すようなことで、「本当はこうなんだ」とか「知らなかった」みたいな話が聞けるとか。

**(石井委員)**

今年度のテーマも格調高いですよ。若い人が行ってみようとは思いませんよね。内容はおもしろいのですが。

**(前野会長)**

高専は理工系ですが、例えば SNS や自主防災などのテーマについてはできます。人材はそろっていますのでおもしろいかもしれません。

それでは、皆さんからいただいたご意見を平成 28 年度事業に生かしていただければと思います。

次に「生涯学習基本構想・計画の策定方針等について」、事務局からご説明をお願いします。

— 事務局説明 —

**(前野会長)**

前回のワールドカフェの話し合いで出された意見やキーワードから、生涯学習基本構想・計画の策定に向け、生涯学習の基本的な考え方や施策の方向性等についてご報告ただきました。

まず、この内容について、自由にご発言をいただきたいと思いますので、よろしくお願

します

**(安藤委員)**

(前回の話し合いの内容について) 数ヶ月経て、まとめていただいたものを読んでみると、生涯学習というと一昔前は高齢者がリタイヤした後の勉強というイメージが強かったのですが、どの年代であっても、学校教育がない人にとっては生涯学習なんだろうな。また子どもであっても、学校教育とは別に学ぶことは生涯学習なんだと、生まれてすぐ生涯教育は始まっているのだとすっかり考えが変わりました。様々な年齢の学びあい、刺激しあえる活動があればいいと思います。公開講座も良いですが、前回話し合いの中ででた通学合宿、それと浦辺委員が話してくれた戦争体験は衝撃を受けました。通学合宿で実際に学びあいながら体験することも大事だし、体験した人から話を聞くことも学習としては大事ななと思いました。

**(前野会長)**

生涯学習教育とは、といった新しい定義を「生涯学習基本構想・計画の策定方針等について」のどこかにいれられないでしょうか。今の意見は正にそうだと思うんです。

**(石井委員)**

生涯学習は、学校教育以外のすべてを含んだもので、その前は社会教育と言われていましたよね。

前回、コミュニティカフェで地域を生かした活動などの話をしたことを思い出しました。木更津市は新しい人がたくさん入ってきていますが、地域でコミュニケーションをとる場がないですよね。それを地域の人も感じてないですよね。関わりを持ちたくない人もいるでしょうし。そういう中でなにをやるのか、どんな企画ができるのか。古くから住んでいる人は地域のお祭りなど横のつながりもあってコミュニティもあり、それが生涯学習に結びついていくのでしょうか、新しい人たちにはどんな企画ができるのかな。

**(石井生涯学習課長)**

生涯学習の範囲は、基本的には学校教育も入っているという考えです。学校教育、社会教育、ありとあらゆる教育を含めて生涯学習であり、生涯学習の土台になるようなことを学校教育で学ぶというように位置づけられています。

**(鶴岡委員)**

印象に残ったことは、「自分自身の自己啓発」という部分と、「つながりづくり」というのが生涯学習、自分自身の学習と地域のつながりというのが生涯学習なのかなと。郷土愛という言葉の意味もはっきりわからなくなっている時代ですが、生涯学習を通じて郷土愛を育む、そうあってほしいなと思いました。

**(前野会長)**

他に何か自由なご意見はございますか。よろしいですか。

それでは、続きまして「生涯学習基本構想・計画の策定スケジュール」等について、事務局からご説明をお願いします。

－ 事務局説明 －

**(前野会長)**

ありがとうございました。それでは質疑に入ります。ご意見やご質問のある委員の方お願いいたします。

**(安藤委員)**

市民アンケートの話がありましたが、業者に委託した場合どのくらい経費がかかるのですか。

**(石井生涯学習課長)**

アンケートを取り、回収・内容の分析なども含めて専門的な業者に委託しますと 300 万円くらい掛かると思われます。

**(前野会長)**

他に何か自由なご意見はございますか。よろしいですか。

まだまだご意見があろうかと思いますが、予定された時間となりました。皆様方のご協力が無事会議を進行することができました。ありがとうございました。

事務局におかれましては、本日、審議されました意見などを参考に、木更津市の生涯学習体制充実のため一層の努力をお願いいたします。

なお、委員の任期が今年度末までとなっております。次期、再任される方も、今期で退任される方もいらっしゃるかと思いますが、皆様方におかれましては、引き続き、豊かな生涯学習社会実現のため、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげまして、本日の会議を閉じさせていただきます。ありがとうございました。

長時間にわたり、貴重なご意見をいただきありがとうございました。

**(進行)**

それでは平成 27 年度木更津市生涯学習課推進協議会第 2 回会議を終了いたします。どうもありがとうございました。